

新しい農業委員を紹介します

任期満了に伴う香美市農業委員会委員選挙が2月14日に告示され、第1選挙区※は、2月21日に行われた投開票（9名が立候補）の結果8名の委員が当選し、第2～4選挙区は、22名が無投票当選しました。

このほか、農業関係団体や議会の推薦を受けた7名の委員が選任され、新しい農業委員37名が決定しました。

| 氏名 | 担当地区 | 備考 |
|-------|-------------------------|--------|
| 中西幸四郎 | 繁藤・平山・東川 曾我部川 | 公選 |
| 幾井 和雄 | 入野・新改 | 公選 |
| 山本 太郎 | 上改田・須江・久次 | 公選 |
| 幾井 浩深 | 大楠・植 | 公選 |
| 西岡 久 | 中組・上野(スタジアム通りより西) | 公選 |
| 永森 孝也 | 談議所・山田(スタジアム通りより東) | 公選 |
| 岡崎 英昭 | 南組 | 選任 |
| 宮地玄一郎 | 岩積・中野・戸板島 | 公選 |
| 岡田 修一 | 神通寺・松本 | 公選 |
| 岡部 雅司 | 立石・京田・岩次 | 公選 |
| 原 心一 | 古町・原西東 | 公選(会長) |
| 西村 広幸 | 八王子・小島・上小島 | 公選 |
| 船谷 康男 | 片地 | 公選 |
| 村田 正博 | 片地 | 公選 |
| 大倉 裕 | 片地 | 公選 |
| 秋友 偉嗣 | 本村・中後入・大後入 西後入・有谷・佐竹 | 公選 |
| 小川 潔 | 佐野・大平・仁井田 | 公選 |

※『公選』は選挙による委員、『選任』は団体や議会推薦の委員です。

【問い合わせ先】市農業委員会 ☎53-1085

委員の任期は3年間（平成22年3月1日～平成25年2月28日）で、農地に関する相談窓口となり、農業者の代表として、農地の保全や、農業の振興等に努めます。

※第1選挙区=旧山田町・明治・岩村・大楠植、第2選挙区=佐岡・新改・繁藤・片地、第3選挙区=香北町（猪野々・清爪・白石・蕨野・永瀬を除く。）第4選挙区=物部町と香北町の1部（猪野々・清爪・白石・蕨野・永瀬）

| 氏名 | 担当地区 | 備考 |
|-------|----------------------------|----------|
| 吉本 猛 | 岩改・萩野・橋川野 | 公選 |
| 依光 晴久 | 太郎丸・下野尻 | 公選 |
| 竹村 尚晃 | 白川・五百蔵 | 公選 |
| 宗石 和彦 | 小川・西川・蕨生野 | 公選 |
| 千頭 洋一 | 美良布・蕨生野 | 選任 |
| 川村 澄雄 | 美良布・朴ノ木 | 選任 |
| 前田 泰生 | 谷相・中谷 横谷・朴ノ木 | 公選 |
| 吉川 昌一 | 永野・大井平・大東 梅久保・日浦込 | 公選 |
| 森安 正 | 清爪・日比原・永瀬 猪野々・柚ノ木 | 公選(会長代理) |
| 坂本 勝由 | 蕨野・白石 根須・吉野 | 公選 |
| 門脇 節夫 | 有瀬・有川・古井・西峯 日ノ御子・河野・川ノ内 | 選任 |

| 氏名 | 担当地区 | 備考 |
|-------|------------------------|----------|
| 坂本 昌建 | 頓定・浦山 中津尾・坂 | 公選 |
| 門脇二三夫 | 神池・楮佐古・笹 | 選任 |
| 近藤 賢明 | 庄谷相・拓・中谷川 大栃・高尾・宮ノ前 | 公選(会長代理) |
| 坂本 節 | 山崎・影仙頭・小川 | 選任 |
| 野久保楠喜 | 日ノ地・押谷 小浜・根木屋 | 公選 |
| 宗石 順一 | 岡ノ内・別役・市宇・ 別府・桑ノ川 | 公選 |
| 公文 久郎 | 平井・立花・安丸 間々・吹越 | 公選 |
| 田中 康博 | 黒代・五王堂 南池・大西・中上 | 公選 |
| 佐々木永明 | 久保 | 選任 |

再選

門脇市長

2

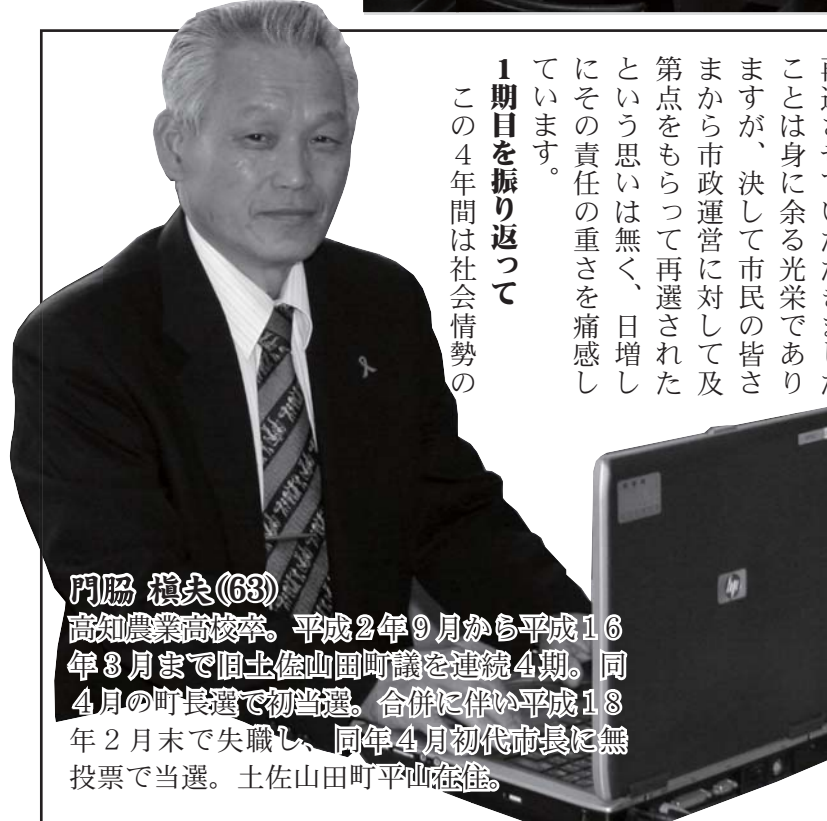
期連続無投票！



4月9日、市長就任式が行われ、市幹部職員を前に門脇市長は「これからの4年間を合併協定の総仕上げの時期と捉え、職場においては、情報の共有と公開はもちろん、討議のある職場づくり、合意の尊重、現場の状況を把握した上での目標設定、職場内では信頼関係を築き融和に努めていきたい」と訓示を行いました。

香美市長選挙
3月21日、任期満了に伴う香美市長選挙が告示され、門脇横夫市長以外に立候補者はなく、2期連続無投票で再選しました。

3月29日に、市長室で選挙管理委員会委員長から、門脇市長へ当選証書が手渡されました。任期は4月9日から平成26年4月8日までの4年間です。



門脇 横夫(63)
高知農業高校卒。平成2年9月から平成16年3月まで旧土佐山田町議を連続4期。同4月の町長選で初当選。合併に伴い平成18年2月末で失職し、同年4月初代市長に無投票で当選。土佐山田町平山在住。

満足感あふれる地域づくりを目指して

無投票再選について
この度の任期満了に伴う市長選挙において、何れも無投票という結果の中で再選させていただきましたことは身に余る光栄であり、決して市民の皆さまから市政運営に対して及第点をもって再選されたという思いは無く、日増しにその責任の重さを痛感しています。

大きな変化の中、政治も経済も不安定で不透明な時代でありましたが、何より合併協定事項の遵守と地域の

一体化を早期に図ることを心掛けてまいりました。しかし、十分でなかった事も多々あり申し訳なく思っています。

2期目に向けて
本市は中山間地域が多く、今後集落の維持や活性化等のために、きめ細やかな施策が求められていると実感しています。また高齢化問題や定住人口減少への対策、産業の振興と雇用の場の確保、人材育成のための教育の充実など課題は山積していますが、満足感あふれる地域づくりを目指して、職員とともに全力で市民の皆さまの期待に応えて参らなければとの思いを強くいたしています。

今後とも更なるご指導とご協力をお願いいたします。